

# 危険薬物の現状と警視庁からのお知らせ

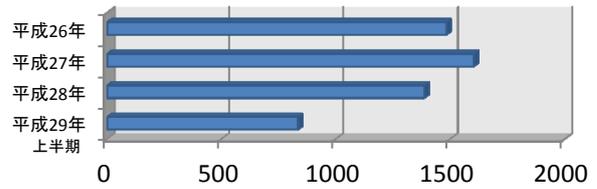
平成29年10月15日

警 視 庁

## 1 薬物事犯の警視庁における検挙状況

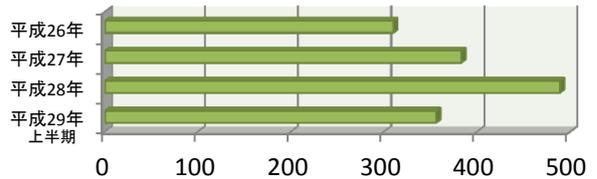
### (1) 覚醒剤

|       | H26  | H27  | H28  | 1~6月 | H29<br>1~6月 |
|-------|------|------|------|------|-------------|
| 検挙人員  | 1482 | 1603 | 1387 | 752  | 835         |
| 前年増減比 |      | +121 | -216 |      | +83         |



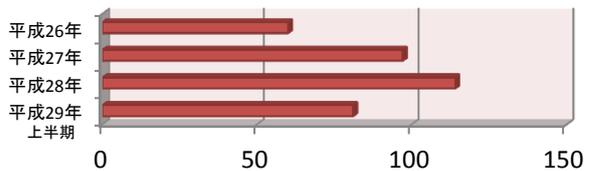
### (2) 大麻

|       | H26 | H27 | H28  | 1~6月 | H29<br>1~6月 |
|-------|-----|-----|------|------|-------------|
| 検挙人員  | 310 | 383 | 489  | 259  | 356         |
| 前年増減比 |     | +73 | +106 |      | +97         |



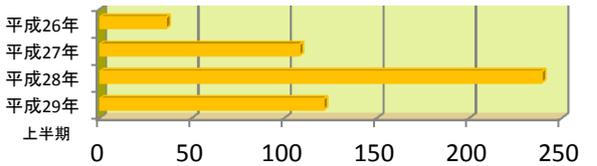
### (3) 麻薬

|       | H26 | H27 | H28 | 1~6月 | H29<br>1~6月 |
|-------|-----|-----|-----|------|-------------|
| 検挙人員  | 60  | 97  | 114 | 53   | 81          |
| 前年増減比 |     | +37 | +17 |      | +28         |



### (4) 危険ドラッグ

|       | H26 | H27 | H28  | 1~6月 | H29<br>1~6月 |
|-------|-----|-----|------|------|-------------|
| 検挙人員  | 36  | 108 | 239  | 88   | 121         |
| 前年増減比 |     | +72 | +131 |      | +33         |



※ 平成29年東京の犯罪(上半期)参照

## 2 警視庁からのお知らせ

### (1) 危険薬物の現状について

薬物事犯の検挙人員は、年々漸減傾向にありましたが、平成26年から増加に転じています。中でも、大麻事犯の検挙人員が著しく増加しております。アパート・マンションの一室を拠点や倉庫とした密売事案のほか、大麻栽培事案や、麻薬・危険ドラッグの製造事案が確認されています。どんな些細なことでもかまいませんので、最寄の警察署まで情報提供をよろしくお願いいたします。

### (2) アパート・マンション内での製造事案の検挙事例

#### ア 危険ドラッグ(ラッシュ)を製造・販売した者の検挙

都内某所のマンションの一室で、医薬品を混ぜ合わせ、危険ドラッグのラッシュ(亜硝酸イソブチル)を製造し、販売していた30代の男を検挙しました。この者は、危険ドラッグ(粉末)を海外から輸入し、自宅で小分けして販売もしていました。



#### イ 麻薬(GHB)を製造した者の検挙

都内某所のマンションの一室で、医薬品を混ぜ合わせ、麻薬(GHB)を製造していた30代の男を検挙しました。この者は、覚醒剤も海外から輸入していました。



### (3) 各自治体、警察署との危険薬物等に関する協定・覚書の締結状況及び新規契約時における「特約条項・確約書」の活用依頼について

平成29年9月末現在、都内48の自治体で、不動産業界支部及び警察署と、危険薬物等に関する協定・覚書の締結をしております。未だ、締結をしていない地区にありましては、自治体、不動産業界、警察が協力して、危険薬物を撲滅していくという機運を醸成するため、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

また、実効性のある協定にするため、引き続き、協会員の皆様に対し新規契約時に「特約条項・確約書」を積極的に活用するよう、ご指導をよろしくお願いいたします。

### (4) 広報啓発活動の推進について

警視庁では、危険薬物撲滅に向け各種広報啓発を推進しております。

今後も、東京メトロ、駅構内、映画館等で、薬物乱用防止広報啓発スポット映像の放映を予定しております。

※ 警視庁では、危険ドラッグ・規制薬物の部外向け教養DVDを作成し、各種研修会等への講師派遣を積極的に実施しております。少人数単位の研修会等でも結構ですので、是非お声がけをください。講師を派遣させていただきます。

